

CENTURY 21 NEWS RELEASE

株式会社センチュリー 21・ジャパン

明海大学不動産学部主催「空き不動産活用コンテスト」

後援のご報告

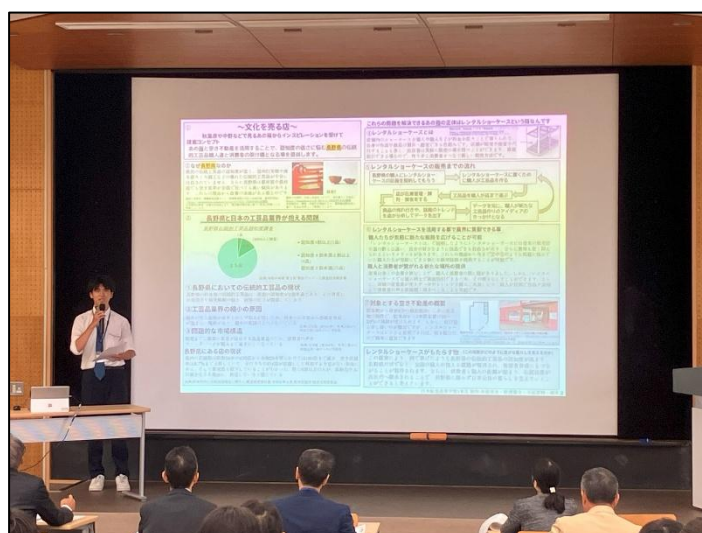
株式会社センチュリー 21・ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：高坂 勇介、以下「当社」）は、産学連携協定を締結している明海大学（千葉県浦安市、学長：中畠 裕）不動産学部が主催する「2025 高校生が考える 空き不動産活用コンテスト」に後援したことをお知らせいたします。

8 月 31 日に明海大学浦安キャンパスにて開催された最終審査会では、当社代表取締役社長の高坂勇介が特別審査員として審査に参加し、優れた提案に対して「センチュリー21 賞」を授与いたしました。

本コンテストは、社会問題化している「空き家」や「空き不動産」に着目し、高校生の視点から「豊かな暮らし」について改めて考え、空き不動産の新たな活用法を通して自身の考えを社会に提案する力を育むことを目的に、「豊かな暮らしを支える空き不動産活用」をテーマとして開催されました。当社は、日本で唯一の不動産学部を有する明海大学と 2025 年 6 月に産学連携協定を締結しており、不動産業界の次代を担う人材の育成と業界の発展に貢献することを目指しています。この度の後援もその一環であり、若い世代が不動産に関する課題に触れ、その可能性を探求する貴重な機会を支援するものです。

全国の高校生から 132 件もの意欲的な応募があり、書類審査を通過した 12 作品は最終審査会にてプレゼンテーションが行われました。地域活性化、多世代交流、環境配慮など、様々な視点からのユニークなアイデアが披露されました。

当社はこれからも、世界最大級の不動産ネットワークの知見を活かし、産学連携をはじめとする様々な活動を通じて、不動産業界の発展と豊かな社会の実現に貢献してまいります。



【受賞作品】

受賞名	提案タイトル	受賞者
最優秀賞	『こども食堂ファーム』 ～空き家で作る野菜と魚で、 こどもたちを笑顔に！～	西南学院高等学校 3 年 八尋春花さん
優秀賞	「空き不動産の『余白』を、 地域の『余白』へ」	小田原高等学校 3 年 橋本有楽さん
	「推し活を通じた 『豊かな暮らし』の提案」	大宮国際中等教育学校 6 年 上杉由奈さん、鈴木結菜さん
	「技の匠と『結』の精神から まちを豊かに」	浜松開誠館高等学校 3 年 白井一志さん
	『つくる』商店街 ―衰退した商店街に 再び活気を―	浜松工業高等学校 3 年 小林美心さん
	「天竜のふらっとハウス」	天龍高等学校 2 年 高林芽以さん、鈴木心来さん、 向山千晴さん
センチュリー21 賞	「文化を売る店」	日本航空高等学校 1 年 加藤恵大さん、桐木遼さん、 小池素晴さん、野渡馨介さん
公益社団法人 全日本不動産協会 理事長賞	「観光拠点空き家リノベーション ～行政と民間協働による 新観光モデル～」	水戸桜ノ牧高等学校 3 年 中嶋淳翔さん
公益財団法人 日本賃貸住宅管理協会 会長賞	「物語の力で地域を笑顔に！ ～児童文学を活用した地域活 性化の挑戦～」	玉川学園高等部 3 年 濱田千乃さん、濱野理奈さん、 福島朱莉さん
佳作	「集いの杜プロジェクト ～人と人をつなぐ拠点～」	市川東高等学校 3 年 畑中陽翔さん
	「放課後を充実させたい！ 空き家リノベーション 大計画！」	昂学園高等学校 3 年 阪口凜風さん
	「Continuation of that day」	多度津高等学校 2 年 中野真緒さん



センチュリー21 賞



① **～文化を売る店～**
秋葉原や中野などに見るあの箱からインスピレーションを受けて
提案コンセプト
あの箱と空き不動産を活用することで、認知度の低さに悩む**長野県**の伝統的工芸品職人と消費者の架け橋となる場を提供します。

②なぜ**長野県**なのか
県民の伝統工芸品の認知度が低く、信州打刃物や南木曾ろくろ職工などの優れた伝統的工芸品が十分に注目されていません。さらに長野県は都市部や農村部でも空き家率が全国に比べても高い傾向があります。これらの理由から改善の余地があるからです。

③ **長野県と日本の工芸品業界が抱える問題**
長野県伝統的工芸品認知度調査
(1000人に調査)

認知度	品数
認知度4割以上(1品)	4品
認知度4割未満2割以上(4品)	25品
認知度2割未満(25品)	25品

出典:令和6年度第3回県政アンケート調査結果報告書

④長野県における伝統的工芸品の現状
長野県の約8割の伝統的工芸品に、県民の認知度が2割未満であり、その背景には発信力や販売戦略の弱さ、同様の広さが関係しています。

⑤工芸品業界の縮小の原因
職人の仕入価格が長年上がり収入が低い、将来への不安から後継者育成が進まない現状があり、縮小の原因の1つとなっている。

⑥問題点の市場構造
販売までに複数の業者を経由する流通構造のため、消費者の声やフィードバックが職人まで届きにくくなっている。

⑦長野県にある店の現状
県内の店舗数は昭和56年の450店から令和29年度にかけては189店まで減少、空き店舗率は8.7%まで上昇していて、そのうちの約4割が店舗として利用する予定がない状況にある。そして深刻さも低下していることがわかった。特に6割以上の人が、高齢化や人口減少などを理由に、撤退していると感じている。

出典:松本市中心市街地活性化に関する調査研究報告書 令和6年4月 松本市議会 経済文化委員会

これらの問題を解決できるあの箱の正体は**レンタルショーケース**という箱なんです

④**レンタルショーケースとは**
店舗内のショーケースを個人や職人などが料金を払うことで借りられて、自身の作品や商品の展示・販売できる仕組みです。店舗が販売や接客を代行することも多く、出店者は気軽に販売の場を持つことができます。直接取引できる場なので、作り手と消費者をつなぐ新しい販売方法です。

⑤**レンタルショーケースの販売までの流れ**
長野県の職人にレンタルショーケースの企画を契約してもらう → レンタルショーケースに置くために職人が工芸品を作る
↓
店が在庫管理・陳列・接客をする ← 工芸品を職人が店まで運ぶ
↓
商品の売れ行きや、話題のトレンドを店が分析してデータを出す → データを元に、職人が新たな工芸品作りのアイデアのきっかけとなる

⑥**レンタルショーケースを活用する事で業界に貢献できる事**
職人たちが気軽に新たな販路を広げることが可能
「レンタルショーケースとは」で説明したようにレンタルショーケースには従来の販売店や道の駅とは違い、自分の好きなように出品できる自由さがあり、さらに費用も安く抑えられるというメリットがあります。これらの理由から今まで②や③のような問題に悩んでいた職人たちが気軽にできる新たな販売経路を提案することが可能で。

職人と消費者が繋がる新たな場所の提供
従来は多くの企業を挟むことで、職人と消費者の間に壁がありました。しかし、レンタルショーケースでは個人同士で直接取引できるため、その壁をなくすることができます。さらに、店舗の従業員が売上データやトレンドを職人に共有したり、職人が店頭で作品を説明して消費者の声を直接聞く場をつくることも可能です。

⑦**対象とする空き不動産の概要**
松本駅から徒歩8分の商店街沿いにある町立地の物件で、松本市から1年間家賃の10～20%の補助が受けられます。しかし、約17畳と少し狭いがポイントですが、レンタルショーケースはレジや倉庫があれば、箱を積み上げて簡単に運営できます。

レンタルショーケースがもたらす物 (この提案がどのように働きを暮らしを変えるのか)
この提案により、例で挙げたような長野県の伝統的工芸品の認知度が上がり、長野県だけでなく、全国の職人の抱える課題が解消され、後継者育成にもつながることが期待されます。さらに、消費者と職人の距離が縮まり、伝統技術が次世代へ継承されることで、長野県に限らず日本全体の暮らしを支えていくことができると考えています。

日本航空高等学校1年生 制作:加藤恵大・野渡優介・小池素晴・桐木達

受賞作品の詳細につきましては、下記のコンテスト公式ホームページをご覧ください。

2025 高校生が考える「空き不動産活用コンテスト」

ホームページ: <https://meikai-re.jp/f-contest/>

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
株式会社センチュリー21・ジャパン 経営企画ビジネスユニットまでお願いいたします。
TEL: 03-3497-0021 FAX: 03-3497-0071 E-MAIL: japan@century21.jp